

# 履修要綱（博士）

## 1 修了の要件

本研究科博士後期課程を修了するためには、同課程に3年以上（6セメスター以上）在学し、20単位以上を修得して、学位論文を提出し、その審査および最終試験に合格しなければならない。

ただし、在学期間に関しては、大学院設置基準第17条に定める教育方法の特例によって、特に優れた研究業績をあげた者は、在学期間の満了をまたずに修了することができる。この場合、当該学生は、強い研究意志と特に優れた能力を持ち、かつ、その修了に必要なすべての要件を満たす者でなければならない。

博士論文の作成にあたっては、まず剽窃防止マニュアルを熟読すること。（剽窃防止マニュアルは巻末参照）博士論文の組み立てにあたっては、執筆のためのアンケート方式や、結果の分析や読み方、統計学の基礎知識が要となる。研究指導計画書を用いながら、指導教授と入念に計画しながら執筆を進めること。毎年度1回の実施が義務となる博士論文中間発表会を用いて様々な教員からの教育指導を受けながら、最終的には新しい知見にあふれる博士論文を作成すること。

※ 博士論文中間発表は巻末の様式を使用すること。

	授業科目 I	必要単位数	終了必要単位数
I	研究指導科目	3科目12単位以上	20単位以上
	特別研究指導科目		
	専門科目		
II	博士論文	博士論文を提出し、審査に合格した場合のみ研究指導Ⅲの4単位を付与（上記研究指導科目に含まれる）	

I および II を満たさねばならない。

研究指導科目は指導教授の科目となる。

研究指導科目は通年（1年間）で、1年次には研究指導 I、2年次には研究指導 II、3年次には研究指導 III を履修のこと。

特別研究指導は、指導教授以外に論文指導を受けたい場合の科目である。

## 2 博士後期課程 開発問題専攻 研究指導科目・専門科目および担当教員一覧

専門分野	2023年度の授業担当者			
	授業科目	開講	単位数	教員名
研究指導科目	研究指導Ⅰ 研究指導Ⅱ 研究指導Ⅲ 特別研究指導Ⅰ 特別研究指導Ⅱ	通年	4	嵐 洋子
			4	岡村 裕
			4	川村 真理
			4	北島 勉
			4	河路 由佳
			4	斉藤 崇
			4	坂本ロビン
			4	進邦 徹夫
			4	鄭 英淑
			4	出嶋 靖志
			4	内藤 高雄
			4	マルコム・フィールド
			4	宮首 弘子
			4	劉 迪
4	渡辺 剛			
専門科目	国際経営学	春	2	西山 桂子
	国際経済学	秋	2	西 孝
	政治学	春	2	進邦 徹夫
	国際政治学	秋	2	渡辺 剛
	金融論	春	2	小田 信之
	国際保健医療学特論	秋	2	出嶋 靖志
	日本語文化論	秋	2	河路 由佳
	比較社会文化論	秋	2	千野万里子
	コミュニケーション論	春	2	イアン・ランバート
	応用言語学	秋	2	倉林 秀男
	言語教育論	春	2	梁井 久江